

第2章

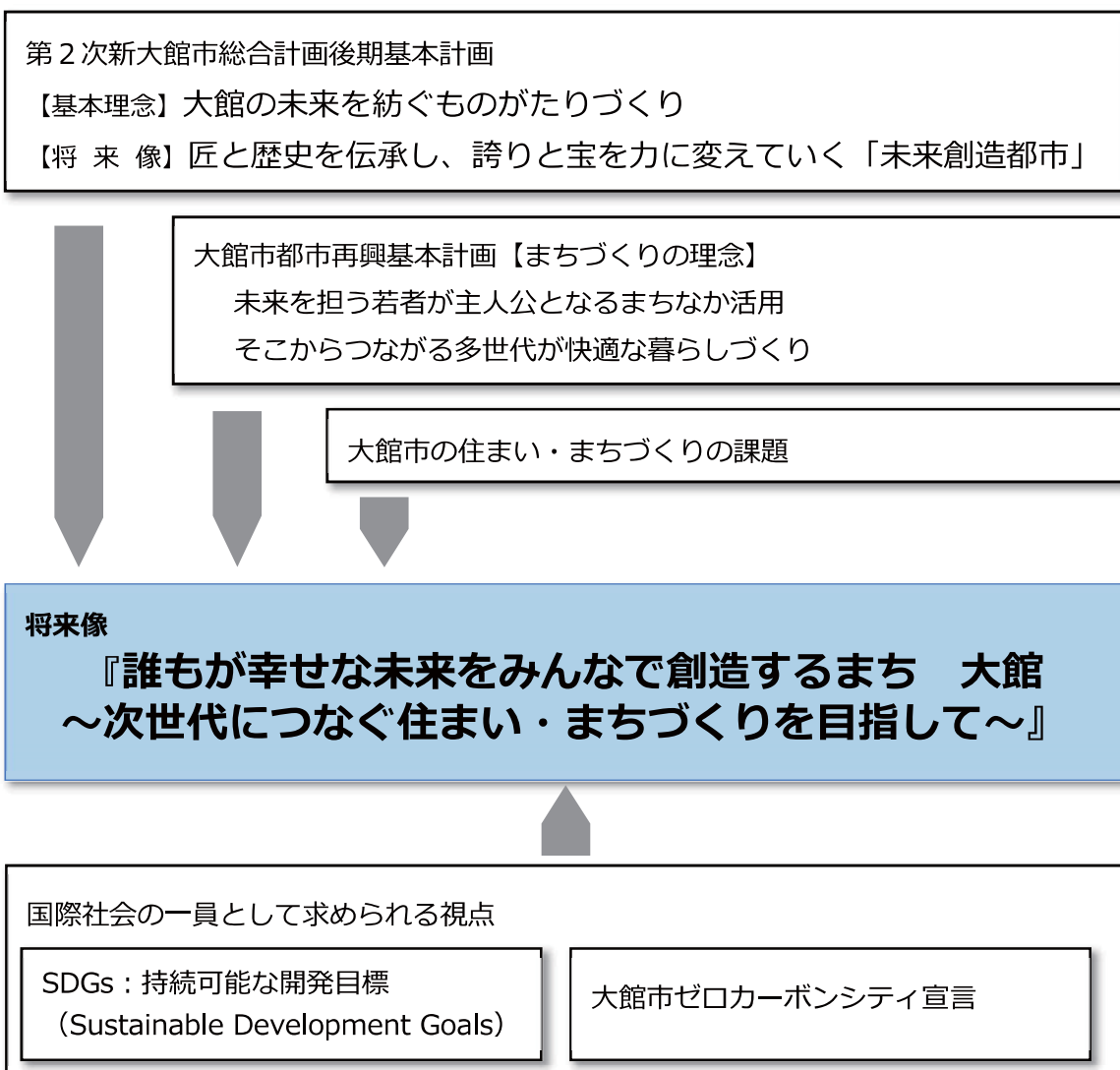
住まい・まちづくりの将来像

第2章 住まい・まちづくりの将来像

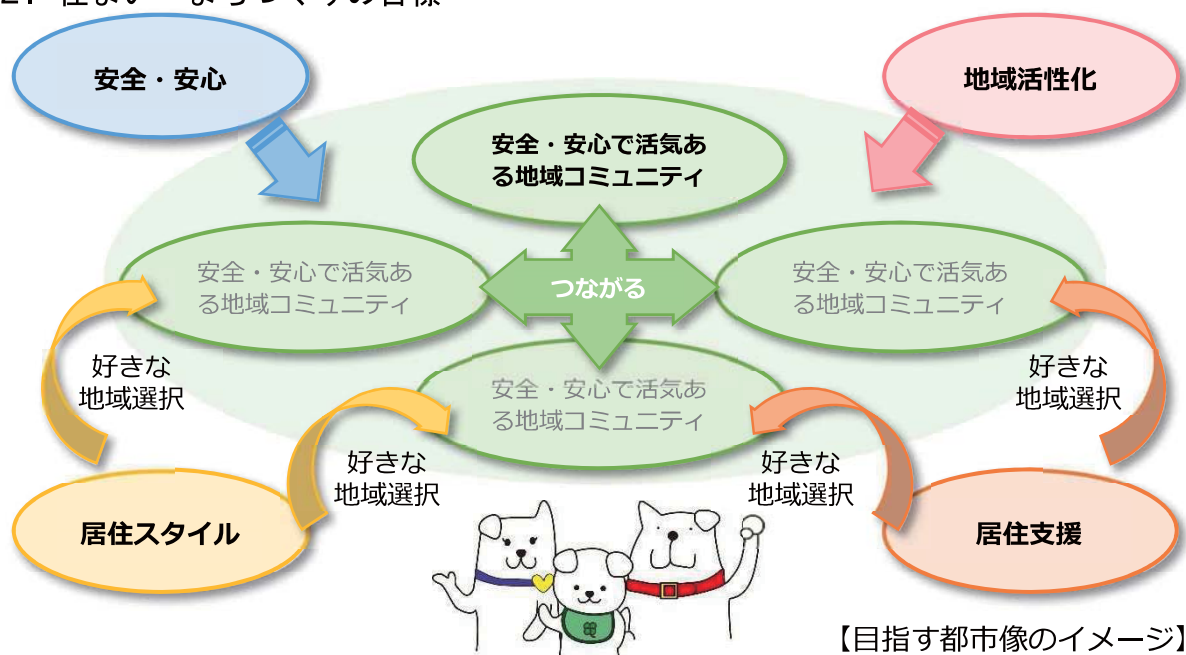
1. 将来像

大館市では、人口減少や少子高齢化が進んでおり、このまま地域外への人口流出が続くと、将来的に地域の活力低下が深刻化することが懸念されます。特に、中心市街地では人口の減少や空き地・空き家の増加、商業活動の衰退等が見られることから、街なか居住の推進による定住化を図ることが求められます。また、大館地域、比内地域、田代地域では異なった地域特性や、市民一人ひとりのライフスタイルが見られるため、多様な居住ニーズへの対応が求められます。これらを実現させるには、行政だけではなく、市民の協働や官民連携による住まいづくり・まちづくりが必要です。






これらのことから、大館市の住まい・まちづくりの将来像は、「第2次新大館市総合計画後期基本計画」や「大館市都市再興基本計画」等の上位・関連計画等を踏まえ、下記の通り設定します。



2. 住まい・まちづくりの目標



将来像と都市像を念頭に、住まい・まちづくりの目標を、以下のように設定します。

- | | | |
|---|--|---|
| 目標 1 | 安全・安心な住生活の実現
～住むなら安全で安心な住環境が良いな～ |  |
| <p><キーワード></p> <p>① 防災・減災 ② 環境保全 ③ 快適性 ④ 土地利用</p> | | |
| 目標 2 | 活気ある住生活の実現
～活気があって楽しいところが良いな～ |  |
| <p><キーワード></p> <p>① 大館らしさ ③ 官民連携 ⑥ 木造都市景観
② 移住・定住 ④ 住生活産業 ⑦ 空き家・空き地
(子育て支援) ⑤ デジタル都市</p> | | |
| 目標 3 | 持続可能な生活圏の形成
～コンパクトで便利な街、小さな拠点が交通網で繋がれた街が良いな～ |  |
| <p><キーワード></p> <p>① コンパクトシティ ② 交通網 ③ 小さな拠点</p> | | |
| 目標 4 | 自由な居住スタイル選択の推進
～自分のライフスタイルに合った好きな地域に住みたいな～ |  |
| <p><キーワード></p> <p>① ライフスタイル ② 住教育 ③ 情報・広報</p> | | |
| 目標 5 | 重層的住宅セーフティネットの構築
～自由に選べない人も居住支援で好きな地域に住みたいな～ |  |
| <p><キーワード></p> <p>① 共生社会・居住支援 ② 福祉住環境整備 ③ 市営住宅整備</p> | | |

■目標、施策の展開方向・方針の体系

目標	展開方針	推進施策
目標1 安全・安心な住生活の実現	1.災害が発生しても持続可能な しなやかで強いまちづくり →P39	①危険な地域を把握し、防災を推進
		②住宅地の出水対策を推進
		③歩行者の安全確保推進
		④地震対策の推進
		⑤災害発生時の迅速な住まいの確保
	2.環境に配慮した持続可能な まちづくり →P42	①省エネルギーに配慮した住宅ストックの普及促進
		②再生可能エネルギーの普及促進
		③住宅・建築物の長寿命化推進
		④木の良さを感じられるまちづくりを推進
		⑤ライフサイクル及びエネルギー管理の可視化・効率化
	3.便利で快適に暮らせる 住環境整備 →P45	①良質住環境・良質住宅ストックの形成
		②都市公園の環境を改善
③雪国でも暮らしやすい住環境整備		
4.歩車共存できる秩序ある 土地利用 →P47	①中心市街地の秩序ある土地利用推進	
	②無秩序な市街化を抑制	
目標2 活気ある住生活の実現	1.住みたくなる魅力あふれる 大館の実現 →P49	①戸建て住宅を持ちやすい環境整備
		②地元産木材の住宅・建築物への活用推進
		③高校・大学との連携推進
		④大館らしい街なみづくりの推進
	2.若年層や移住者が住みやすい 活気あるまちづくり →P51	①移住・定住しやすい住環境整備
		②子育て世帯の移住・定住推進
	3.官民連携のまちづくり体制構築 →P53	①官・民それぞれの長所を生かしたまちづくりを推進
		②地域の意見を反映させたまちづくりを推進
	4.住生活産業振興による 地域活力の向上 →P55	住生活産業の振興・発展
	5.デジタル技術・データを 活用したまちづくり →P56	①デジタル技術を活用したまちづくりの効率化・可視化
		②住生活産業におけるデジタル化の推進
	6.日本の伝統と木の良さが 感じられる木造都市景観づくり →P58	①日本建築に触れやすい環境整備
		②木の良さを感じられるまちづくりを推進（再掲）
③大館らしい街なみづくりの推進（再掲）		
7.空き家・空き地を最大限に活用 し、遊休不動産の解消 →P60	①危険空き家の解消を促進	
	②空き家・空き地の利活用を促進	
	③空き家・空き地対策に取組む人材育成	
	④空き家・空き地の発生抑制	

目標	展開方針	施策方針
目標3 持続可能な生活圏の形成	1.魅力あふれる街なかを形成し、誇れる大館式コンパクトシティの実現 →P64	①街なか居住の推進
		②中心市街地活性化施策との連携
	2.公共交通が機能したコンパクトシティの実現 →P67	①公共交通施策と連携した住環境整備
		②駅前を起点とした賑わい再生
		③歩行者の安全確保推進（再掲）
	3.街なかや郊外部の小さな拠点化による集落生活圏の形成 →P69	①地域コミュニティの維持向上
②小さな拠点の形成		
目標4 自由な居住スタイル選択の実現	1.ライフスタイルの変化に伴う自由な居住環境の選択 →P71	①年齢や生活の変化による適切な住環境の選択推進
		②中心市街地と郊外の環境に適した住環境選択推進
	2.住まいやまちづくりなどを知り、大館市への愛着と誇りを育成 →P72	①大館に住むということやまちづくりについて理解を深める
		②ふるさとキャリア教育などと連携した住教育
		③官民連携の人材育成の展開
		④大館式リノベーションスクールの開催
3.住宅関連情報の提供・共有による円滑な住宅市場の形成と誘導 →P74	①情報の発信と住民意見の反映の取組み推進	
	②調査・研究の推進と情報ネットワークの構築	
目標5 重層的住宅セーフティネット構築	1.住宅・福祉の官民連携による共生社会の実現 →P76	①住宅確保要配慮者居住支援協議会の設立
		②住宅政策の居住支援政策への発展・推進
		③福祉と住環境に精通した人材育成
		④他分野と連携した居住支援の展開
	2.居住者目線の福祉住環境整備 →P80	①福祉住環境整備推進
		②福祉機能がある住宅の整備推進
		③民間住宅への入居円滑化・推進
		④高齢者住宅や市営住宅へのIoTを活用した見守り
	3.市営住宅の良質ストック整備 →P84	①環境に配慮した市営住宅整備推進
		②居住環境を改善し、安全・安心な市営住宅整備推進